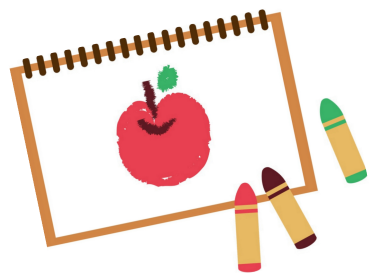


鳥取市文化財団の施設から
みなさまへ
令和5(2023)年もよろしく
お願いします



鳥取市歴史博物館「やまびこ館」

鳥取市歴史博物館（やまびこ館）では「モノが語る、人が語る博物館」をコンセプトに先史から現代までの鳥取の歴史や文化を紹介しています。1万年前の考古遺跡から、鳥取出身のオリンピックの自転車競技用ヘルメットまで、多彩な実物資料に加え、映像やジオラマなどからも鳥取市の歴史を知ることができます。学校の社会科見学などでは、展示解説やミニ授業など、ご希望に応じてご対応をさせていただきます。ぜひやまびこ館をご活用ください。

常設展示室のようす



鳥取市因幡万葉歴史館

百人一首にもとりあげられている大伴家持は、今から約1260年前の西暦758年、鳥取の因幡国の長官（今という県知事）として奈良の都から来ています。そしてその次の年の正月元日に、この鳥取の地で『万葉集』という歌集の最後を飾る歌をよんでいます。

当館では大伴家持の生涯や『万葉集』のほか、当時の人々が着ていた服や食べ物なども再現しているので、昔の人がどんな生活をしていたのかな？と関心をもってぜひ見に来てください。

大伴家持の食事の再現



仁風閣・宝扇庵

今から115年前に、鳥取城跡に建てられた国の重要文化財「仁風閣」は、鳥取県でとても珍しい明治時代につくられたキレイでおしゃれな白い建物です。

この仁風閣の建物がとても古くなっていてペンキもはがれてきたので、このたび建物全体を修理することになりました。

今年の12月までは開いているので中に入れますが、その後の約5年間は工事のためお休みになります。今のうちに仁風閣と庭園に何度も遊びに来てください。



鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

【全国の小学生が作った考古学新聞！】

2月11日（土・祝）～3月5日（日）に青谷上寺地遺跡展示館ロビーで「Kid's考古学新聞コンクール巡回展inあおや」を開催します。小学生が遺跡や出土品などについて考え、調べて作った新聞で、工夫がいっぱい、大人もびっくりの力作ぞろい！

今年もコンクールが開かれる予定です。みなさんも応募してみませんか？

今回は青谷小学校上寺地遺跡クラブのみなさんの新聞も展示する予定です。

Kid's考古学新聞コンクールについて

https://kids-kouko.com/newspaper_2022/

2021年度巡回展



鳥取市あおや郷土館

現在、展覧会「一気高・鹿野・青谷の子どもたちによるー第18回鳥取市児童生徒交流絵画展」を開催中です。鳥取市気高町・鹿野町・青谷町の保育所演じ、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒による絵画作品や立体作品を約400点展示しています。水彩画や貼り絵、版画のほか、粘土や針金、和紙などで作られた造形作品など、個性豊かで元気いっぱいの作品を是非ご覧ください！

展覧会のようす



鳥取市あおや和紙工房

1月14日から3月19日まで、恒例の企画展「因州和紙あかり展」を開催しています。毎年、年度のフィナーレを飾るこの企画展、出会いと学びを積み重ね今回で第19回を迎えております。

北は新潟から南は沖縄まで11都府県から一般部門・ジュニア部門合わせて55点の応募がありました。近年ますますバリエーションも豊富になり、斬新なものから定番のものまで楽しんでご覧いただきたいと思います。

ご来場を心からお待ち申し上げます。

大賞作品「花手水」



城下町とつとり交流館 高砂屋

高砂屋は年間を通して、端午の節句や七夕、月見、ひなまつりなど、催事行事にちなんだイベント・展示を開催しています。

2月3日は節分。節分の日、豆まきや柊（ひいらぎ）で悪い物を追い払い、恵方巻を食べて福を呼び込む習慣があります。

高砂屋では2月3日は、柊の小枝と焼いた鰯の頭を玄関先に飾り、先着50人に福豆小袋を差し上げます。

